

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぬくぬく（ぼんな・こった）		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スポーツ活動への取組。	・多種多様なスポーツを取り入れ、飽きのこないスポーツ活動に取り組んでいる。 ・定期的に実力を測る事ができる様に、スポーツ大会を開催している。	・スポーツが苦手な児童への声かけや指導。 ・行動体力や防衛体力の向上を網羅する為の努力を行う。
2	・新しい事（活動）を取り入れる迅速な対応。	・各支援員の立案した企画を取り入れる事で、支援員員のモチベーションアップアップにつながる。	・継続して企画会議で自由な発言ができる環境を整える。
3	・保護者への対応。専門職によるカウンセリング。	・保護者からの要望に応じて、迅速に面談を行う。 ・面談や担当者会議に、支援員が積極的に参加をしている。	・研修等で支援員のスキルの向上を行い、どの支援員も保護者と良好な関係が築けるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他の事業所との連携。	・自事業所の活動に自信がある。 ・麻生医療福祉専門学校やローターアクトクラブなどの他団体との交流を行っている。	・担当者会議への積極的な参加を行い、併用児童の様子を確認する。
2	・スポーツが苦手な子どもへの対応。	・スポーツでは集団活動になる事もある為、スポーツが苦手場合と集団活動が苦手な場合と、それぞれを考える必要がある。	・個別に練習を行い、徐々に集団へ入る事ができる様に対応を行う。
3	・保護者の参加できる企画や研修会の立案。	・スポーツ大会や周年祭では、保護者の参加も歓迎をしている為、広く周知できる様にする。	・保護者の予定等がある為、早めの周知を心がける。